

# 2018年度 経済学部海外プログラム 参加者アンケート

## プログラム： マッセイ大学

2018年度参加者数：8名

<内訳>

経済学科 国際専攻 1回生…1名、 2回生…4名

経済学科 経済専攻 1回生…3名

男性 6名、 女性 2名

- ※ 複数回答可の項目有り
- ※ 回答漏れ有り
- ※ < >内の数字は回答数

## 1. 応募まで

- 1) 募集ガイダンスに参加しましたか はい <4> いいえ <2>
- 2) 本プログラムへの応募動機は何ですか（複数回答可）  
派遣国 <4> 学習言語 <4> プログラム内容 <1>  
参加費用 <0> 実施時期・期間 <3> 体験談・口コミ <0>  
その他 <1>【必修の単位になるから】

## 2. 事前学習

- 1) 事前に学習しておいて役立ったこと

- ・ 現地での生活事情について。特に携帯などの通信機器について教えてくれていたので困らなかった。
- ・ ニュージーランドの文化や特徴、基本情報
- ・ 日常で使える英語の表現
- ・ 現地の気候や文化
- ・ SIMカードについて
- ・ 基礎的な経済用語

- 2) 事前に学習しておけばよかったと思うこと

- ・ 生活については生活の時間帯が異なること（とても早寝早起き）以外は特に日本と変わることはないと思う。
- ・ 経済を勉強する時に使う英単語
- ・ 英語のスピーキング、リスニング力
- ・ 英語の語彙力

## 3. 現地での講義

- 1) 英語の授業について

### ①授業のレベル

難しすぎた<0> 少し難しかった<2> 適当<2> 少し易しかった<2> 易しすぎた<0>

### ②クラスの規模

人数：15人 → 多い<0> 適当<3> 少ない<0>

20人 → 多い<1> 適当<2> 少ない<0>

内訳（国籍、人数）：

15人 → 中国人、チリ人、日本人

20人 → 中国人と日本人が半々、韓国人

### ③講義内容、使用教材、テストについて

- ・ 実用的な英語について学ぶことができる。リーディング・ライティングが 1.5 時間、リスニング・スピーキングが 2 時間。テストはあるが難し過ぎることはない。
- ・ レジюме中心の授業で内容は国や地域、家族など。テストは比較的簡単。
- ・ 英会話、英作文、長文読解、リスニング、基礎的な文法についてレジюмеを用いて学んだ。テストは会話と単語の小テストのみ。
- ・ ディスカッションが主だった。使用教材はプリントで、スピーキングテストもあった。
- ・ マッセイ大学の独自の教材、テストはスピーキング、ディスカッション、筆記、リスニング。
- ・ グループディスカッションやプレゼンテーションをした。自分に合ったレベルの英語クラスだった為、適度な難しさもあり学ぶことがたくさんあった。

### ④担当教員について

- ・ ほとんど良い先生だが、授業スタイルは先生によって異なるし、それが自分に合うかどうかは人によって違うと思う。色々な先生がいる。
- ・ 何でも親切に答えてくれる良い先生だった
- ・ 優しい先生から厳しい先生まで様々
- ・ 全員わかりやすく楽しい授業だった
- ・ 一人ひとりにあった授業を提供して下さる先生が多く、とても親切だった

### ⑤その他コメント、次年度参加者へのアドバイス

- ・ 授業がそこそこ長いので、最後の方は集中力が切れてしまうかもしれないが、慣れてくる。宿題もわりと出る。日本人が少ない環境で、話し合いをする時も英語で話さざるを得ないので、良いスピーキングの練習になると思う。英語が母国語でない人の英語は発音に癖があって分かりにくいですが、実際はそんな人とも会話する機会が多いと思うし、良い経験になる。しかし、プログラムの途中からは私達のような短期留学の日本人が増えてきて、最初のように日本人が少ない状態ではなく、日本人が多くなってくると甘えや照れから日本語で会話してしまうことが多かったように感じる。英語の成長も伸びなくなってしまいうし他国の子に対して失礼だし仲良くなる機会も減ってしまうので、次回からは同時期に日本人受け入れの少ない語学学校であれば更に良いと思った。
- ・ 英語を学ぶことはもちろんだが、見ず知らずの人との会話の練習が事前に必要だと感じた。能動的に話しかけないと、友達にはもちろん先生からも話しかけられる機会は少なくなる。
- ・ 英語から英語に訳す（英英辞書のような）練習をしておくとうと良いと思う
- ・ 色々な人と話せて楽しい
- ・ サポート体制がしっかりしており、安心できるプログラムなので是非参加して欲しい
- ・ 自分のレベルに合った授業を受けることができる為、少し難しいと感じることがあるかもしれないが、自分のスキルアップに繋がると思う

## 2) 経済学の授業について

### ①授業のレベル

難しすぎた<1>  少し難しかった<2>  適当<3>  少し易しかった<0>  易しすぎた<0>

### ②講義内容、使用教材、テストについて

- ・ レジюмеで簡単なミクロ・マクロ経済を学んだ
- ・ 経済用語の説明や、ニュージーランド経済と日本経済の違いについてまとめたレポートの作成。パワーポイントを使った発表など。
- ・ 現地と日本の経済の違いについてパワーポイントを用いて英語で学ぶ。テストは特になし。プレゼン発

表あり。

- ・ 日本とニュージーランドの文化や経済
- ・ マッセイ独自のプリントを使用した
- ・ 主にニュージーランド経済について学んだが、日本と比較しながら学ぶため理解しやすかった。教材は先生が用意したプリントやスライドを使った。

### ③担当教員について

- ・ 分かるまで英語で言い換えて説明してくれたり、写真で説明してくれたりしてとても良い先生だった
- ・ 経済に関する情報を分かりやすく丁寧に解説してくれる先生だった。文法なども親切に教えてくれた。
- ・ 丁寧だったが日本のことを何も知らなかった
- ・ 分かりやすく、優しかった
- ・ レポート添削などを気軽に行ってくださる気さくな先生だった

### ④その他コメント、次年度参加者へのアドバイス

- ・ 簡単な経済学なので特に不安に感じることはない。ただ、長い英語の授業終わりで昼休みも挟むのでちょっとしんどいかも。後半はほぼ毎日ライティング課題が出る。ただ毎週金曜日にある企業訪問は結構気合いが必要。相手がゆっくりと話していないせいもあると思うが、特に科学系の企業では専門用語が連発して何を言っているのか基本分からないと思う。気合！
- ・ 経済の用語をしっかりと勉強するべき
- ・ 課題、宿題が多めだった。頑張ってください！
- ・ 英語が難しいと言うよりも経済の知識が不足していて、理解が難しかった
- ・ わからないことは恥ずかしからずに質問してみてください

## 4. フィールドトリップ

### 1) 印象に残った訪問先、その理由

- ・ ロボットを作っている会社【機械の構造まで見せて頂きとても興味深かった】
- ・ 人口知能を使った義足を開発する会社【日本ではなかなか見ない作業場やロボット義足が見れた為】
- ・ ロトルア【綺麗だし楽しかった】
- ・ ロトルア、動物園、水族館、オークランド市街、その他のアクティビティ。行った所は全て楽しかった。
- ・ ロトルア間欠泉やキウイ、マオリ族の文化など、ニュージーランドでしか経験できないことを数多くできた。

### 2) 興味がもてなかった訪問先、その理由

- ・ ロトルアで行ったマオリ文化を学ぶ所では、その場所自体はとても良かったのだが、ガイドの説明がしつこくて、時間内に全てまわる事ができなく少し不満を感じた。英語の看板の説明も普通に理解できるので、次回ガイドは要らないと思う。
- ・ ハーバースポーツ【職員が威圧的だった。話すスピードが速すぎて何を言っているか分からなかった。】
- ・ ロボットの会社【難しかった】

### 3) 感想、次年度参加者へのアドバイス等

- ・ お出掛けは積極的にした方が良い。自分で探す力もつくし何より楽しい。予約をする機会も出てくると思うし、自分で電話をかけないといけない時もある。特に電話は言語に不安があるかもしれないが、英語が母国語でない人だとわかると相手も分かりやすく話しかけてくれるし、遊びの中でも英語のいい勉強になると思う。自然やアクティビティも活発なところなので、遊ばないのは勿体ない！
- ・ 部屋に閉じこもるのではなく、外に出て色々な場所に出かけることで英語を使う機会も増えるので、積極的に外に出て海外の方と話すことをお勧めする。

- ・ 全てのことに興味を持ち、多くの場所を訪れることをお勧めしたい
- ・ 質問を考えながら話を聞くといいでしょう
- ・ 専門的な英語が難しかった
- ・ めっちゃ楽しかった

## 5. 現地の環境

### 1) キャンパスについて

#### ①教室、その他の設備

- ・ 教室は綺麗で使いやすかったが、メインキャンパスからの移動が遠過ぎて不便だった。坂道を 20 分程度歩かないといけなく大変だった。シャトルバスも出ていたが運行間隔があいていて不便だった。まあ今ではそれも含めていい思い出。
- ・ メインキャンパスからは少し離れた場所に位置していた。教室は広い教室から狭い教室など様々。
- ・ メインキャンパスの方は綺麗そうだったが、自分達が使った教室は古くて虫も多かった。自然の中で勉強している感じ。
- ・ 教室迷う！
- ・ 設備は良かったがキャンパスが広すぎて移動に苦労した

#### ②その他コメント、次年度参加者へのアドバイス

- ・ 自然がたくさんあり、日本の大学とは違った雰囲気だった
- ・ 学校にはスニーカーを履いていかないとキャンパス間移動で足が疲れる（笑）！！
- ・ 体育館など簡単に借りることができるので、放課後にバスケやバレーをすることができる
- ・ 建物の番号は覚えた方が良い
- ・ 素晴らしい環境です！

### 2) ホームステイについて

#### ①食事

- ・ 私のステイ先では魚も肉も出だし、麺も米もあったし、野菜も出てとても美味しかった
- ・ 野菜を中心とした食事だったのでもう少し肉料理も出して欲しかった
- ・ 様々な国の料理を食べさせてくれた。日本のように色々なものが出てくるのではなく、メインの料理が一つドーンと出てくるだけなので、味には飽きるかもしれない。
- ・ 辛かった
- ・ ホストファミリーが毎食料理して下さり、レストラン並みのクオリティーだった。外食も美味しかったが少し高かった。
- ・ 食事は美味しく、量も聞いてくれたためとても良かった

#### ②自分の部屋

- ・ ダブルベッドで広い綺麗な部屋だった
- ・ 広くはなかったが、生活する上での問題は何もなかった
- ・ 程よい広さの部屋を貸して下さった
- ・ 快適だった
- ・ Wi-Fi 環境も整っていて、宿題などもスムーズにできた

#### ③共有の設備（キッチン、バスルーム、ランドリー等）

- ・ とても綺麗なお家だった。海まで 2 分で歩いていけるし、バルコニーからは海を望めるとても素敵なお家だった。
- ・ キッチンやバスルームは少し汚れていたが、不快になるほどではなかった。

- ・どれも綺麗だった
- ・全て自分専用のものがあり快適だった

④キャンパスまでの所要時間

15分 <1>    30分 <2>    40分 <2>    60分 <1>  
 → 遠すぎた <0>    少し遠かった <1>    適当 <5>    近かった <0>

⑤本プログラム以外からの留学生

あり <1>    → 人数：2人    国籍：中国  
 なし <5>

⑥ホームステイ先でのインターネット環境

あり <6>  
 → 自室から可能    <6>    → 有料 <0>    無料 <6>  
       特定の場所から可能 <0>    → 有料 <0>    無料 <0>  
 なし <0>

⑦ホームステイについてその他コメント、次年度参加者へのアドバイス

- ・移民国家なので色々なホームステイ先がある。私の所はニュージーランド人の家庭だったが、ホームステイ先が中国人のところも多かったように思う。人の優しさなどはそれによって変わることはないと思うが、特に食事の面で苦労している人もいたように思う。運です！！
- ・ファミリーの皆さんが良い人達だった
- ・英語を上達させる格好の場。自ら進んで話しかけるとホストファミリーも喜び。
- ・とてもいい人達だった。帰国後もやり取りができるようにしておくといいだろう。
- ・とても親切な方ばかりなので心配することはない。ホストファミリーは留学生のことを考えてたくさんの経験をさせてくれた。その中には日本と違ったり戸惑ったりすることがあるかもしれないが、1度はチャレンジしてみてください！

3) 現地の人との交流について

①ホームステイ先以外での現地の人・外国人との交流の機会

あり <5>  
 → 内容：(学校の友達・ホームステイ先の家族の友達)  
           (学校の行事)  
           (教会で春節を祝うパーティーをした)

なし <1>

②その他コメント、次年度参加者へのアドバイス

- ・意外と日本のことを知っている人もいるので、積極的にコミュニケーションを取ってみよう
- ・Wechat、Facebookのアカウントを作っていくと良いと思う。LINEはメジャーじゃないので連絡が大変。私はオンラインゲームをしているのだが、学校の中国人の子も同じゲームをしていたので盛り上がったし、ゲーム友達になったりもして今でも親交があるので、オンラインゲームをしている人はそんな事もあるかもしれない。
- ・色々外国人と関わるフェスティバルなどがマッセイの企画でもある
- ・皆いい人だから気軽に話せる
- ・英語が喋れなくてもシャイにならず、積極的に友達を作って欲しい。多国籍の友達ができることで自らの視野を広げることができる。
- ・現地の学生と交流することはまず無い。中国人留学生とは交流があった。

## 6. プログラム参加前後の変化

### 1) 英語力

特に向上したと思う技能： Speaking <3> Listening <2> Writing <1> Reading <2>

やや向上したと思う技能： Speaking <3> Listening <2> Writing <1> Reading <0>

あまり向上しなかった技能： Speaking <0> Listening <1> Writing <0> Reading <4>

### 2) 経済学への理解

深まった <0> 少し深まった <4> 変わらない <1>

### 3) その他コメント

- ・ 英語力の上昇は自分で感じられるレベルに向上すると思う。プログラムに参加する前はそんな変化があるとは思っていなかったが、割と向上する。私は夜寝る前とかバスの中で、好きなアーティストの Podcast を聞いていたので、英語を聞いている総量は人より多かったかもしれない。
- ・ 2週間を越えた辺りからリスニング、スピーキング共に向上したと思う

## 7. 費用・持ち物・その他

### 1) 費用について

①今回のプログラム費以外に現地で使った金額：

日本円 4万円相当 <1> 7万円相当 <2> 10~15万円相当 <3>

②持参した金額

日本円 2万円相当 <1> 5万円相当 <3> 20万円相当 <1>

→ 十分だった <4>

足りなかった <1>

③お金はどうやって持参しましたか（複数回答可）

日本円現金 <2> クレジットカード <5>

現地通貨現金 <4> 国際キャッシュカード <1>

④お金・両替・現地通貨について

- ・ カード払いがほとんどなので現金は要らない
- ・ クレジットカードを使い過ぎると外貨が余る
- ・ 私は留学に向けてお金を貯めていたので特に遠慮せずに使っていたが、物価は高いので節約していく人はかなりしんどいかもしれない。アクティビティ大国とは言え、何か遊ぼうと思うと万単位でお金がなくなると思った方が良く、食費もかなりかかる。ただ、交通費は ATHOP カードを使えば安く抑えられる。クレジットカードについて、私はソニー銀行という所のカードを使った。外貨口座を開いてしまえば手数料なしに自動で日本口座から外貨に変換し支払うことができる。日本の別の口座から必要になったらその都度ソニー銀行の日本円口座に振り込みして支払った。
- ・ コンビニなどではクレジットカードが使えないことがあるので、キャッシュ機能のあるカードを持って行くか、空港などでドルに両替していくことをオススメする。
- ・ クレジットカード社会のためほとんど現金を使うことはないが、現金で支払わなければならない店もある為、少しは現地通貨を持っていくことをお勧めする

### 2) 持ち物について

①持って行ったほうが良いもの

- ・ モバイルバッテリー
- ・ 海外用 SIM カード、ポケット Wi-Fi

- ・ パソコン
- ・ ドライヤー
- ・ 水筒
- ・ 学生証
- ・ 帽子
- ・ 日本からのお土産（とても喜んでくれる）
- ・ 羽織れる上着： 日によってはかなり冷え込む日もあるし、朝晩でかなり気温差があるので、羽織れるものは必須。あと日差しがとても強いので紫外線よけにもなる。
- ・ 折り畳み傘： 雨も突然大量に降るのでであると便利だと思う
- ・ サングラス： 日差しが強過ぎて目が開かないので。現地で売っているものは大きくてサイズが合わないかもしれないので女の子は日本で買って行くと良いかもしれない。
- ・ 日焼け止め： 必須。冗談じゃなく本当に日本と比にならないくらい日焼けする。
- ・ 水着： ビーチが沢山あるので、絶対持って行った方が良い

#### ② 持って行かなくても良いもの

- ・ 日焼け止め
- ・ 薬
- ・ ポケット Wi-Fi（SIM カードの方が安い）
- ・ 洗濯グッズ
- ・ タオル
- ・ サンダル（現地で安く買える）
- ・ 服： 沢山持って行ったがそんなに必要ない上、何気に重いので帰国時に超過する原因になる。
- ・ 有名なお土産として蜂蜜があると思うが、水分なので機内持込ができない上に重いので、持って帰るのに苦労する。行きはかなり重さに余裕をもって行った方が良いかもしれない。
- ・ ニュージーランド航空は荷物を預かる手続きをするのが人間ではなく機械なので、ごまかしたり何人かでまとめたりすることはできないし、超過すると 250 ドルかかるので荷造りは計画的に！

#### 3) 治安等、注意すべき点

- ・ 安全だった
- ・ 治安よし！
- ・ 治安は比較的安全だったが、落とし物はほとんど返ってくることはない
- ・ 治安はとても良い。唯一あったのは、日本人ヤンキーに絡まれたことくらい…。
- ・ 夜の街はやっぱりやんちゃな人もいるが、日本と治安はそんなに変わらないと思う。衛生レベルも変わらないしとても過ごしやすい国。移民国家なので色々な国籍の人がいて、日本語がわかる人もそれなりにいるので、発言には気をつけた方が良い。偏見や差別はほとんどと言って良いほどない。
- ・ 夜の繁華街は少し治安が悪いがあとは何も問題ない

#### 4) その他次年度参加者へのアドバイス

- ・ 是非参加してもらいたい
- ・ 色々な所に行き色々なことをすべき！
- ・ 全てを含めて本当にステキな国で、帰ってきてしばらく経った今でも戻りたくなるくらい本当にステキな所。自然がたくさんだけど、市街地までバスで 30 分。動物園や水族館は日本の規模よりも大きくて、生き物も自由にしている。アクティビティやスポーツが生活に馴染んでおり、朝早く起きて夜早く寝る健康的な生活が送れる。ご飯もお酒も美味しく、現地の人は昼から飲んでいる。どの景色も本当に綺麗

麗で、写真では伝わりきらないものばかり。現地の人は優しい人ばかりで、英語を上手く話せなくても待っていてくれる。本当にステキな生活を送ることができるのでオススメ！！

- ・ 日本を外から見ることができるとても良いプログラム。少しでも迷ったら、授業のない春休みを利用して参加してみることをオススメする！
- ・ 英語が不得意でも友達や先生が助けてくれるため特に心配することはない。自らの英語力の向上やコミュニケーション力を上げることもできるため、参加することをお勧めする。
- ・ 海外で生活することは慣れないことだらけで苦労すると思うが、良い経験となる。また、英語以外のコミュニケーションをとれる言語がないので、必然的に英語を話すしかない。しかし英語を話すということに抵抗がなくなる。日本ではリーディングやライティングの勉強はするがスピーキングの勉強はあまりできないので、留学はスピーキングの勉強に打ってつけだと思う。実際こんなにも英語が話せないのかとビックリした。しかし自分の英語力を試すには絶好の機会だったと思う。この留学に参加してから英語学習に対する考え方が大きく変わった。